

令和2年度

研究だより

10月21日(火)

No.1

第2回全校授業研究会& 中学部実践例の紹介

中学部研究部& 授業アドバイザー

中学部1・2・3年保健体育科「メダルラッシュⅢ～器械体操～」10/14

協議題 「技のポイントを交えながら生徒が伝え合い、高め合いながら運動する場の設定について」

運動量の確保

運動量のバランス（たくさん運動する日、他のところに比重をおく日）

環境・用具

体の大きさに合ったものを
 平均台は床を利用してポーズや技の練習をしてもいい



その他

- 動きと言葉（イメージをつなげる工夫）
- しぼる（観点、グルーピング、活動内容）
- 技のポイントを自分の体に落とし込む
- 「きれいに」はどんなイメージ？美しさの基準は？美しさを求めると達成感が得にくい



評価 即時評価 点数や○×、表を使って

伝え合うためのグルーピング

- 似た目標同士のグルーピング
- 高め合う必然性のある状況作り（ペア、3人）
- 困っていることを話し、アドバイスをもらう
- 伝え合いに重きを置かなくていい人もいる

グループ協議のまとめ

◆指導助言◆中央教育事務所 指導主事 沼倉友和先生より

- 生徒たちは、緊張感のある中で自分のめあてに向かって頑張っていた。9月の事前研よりも、一人一人の技能が向上している。手立てが丁寧に行われたということだと思う。



成果について

- 跳び箱では「美しさ」を「ふわ、ピタ」など、擬態語を使って表しており、意識しやすかった。
- タブレットを活用し、友達同士で伝え合う場を意図的に設定していた。器械運動のように、自分の動きを客観的にとらえるのが難しいものは、動画や友達からのアドバイスを伝え合い、高めていくことが必要である。一方で、伝え合う場を設定すると運動量の確保の時間設定が難しくなることもある。毎時間設定するのではなく、ねらいに応じて必然性のある場を設定することも今後検討してほしい。

今後の指導に向けて参考にしてほしいこと

- 本時のねらいを明確にすること。本時の全体の目標が【知】【思】が示されているが、どの部分のどこをねらうのかが、詳しく示されると学習活動が精選され、手立ても明確になる。また、1単位時間に評価基準は1~2個でよい。指導計画の記載も工夫を。
- 伝え合いをより活性化し相互評価できるように、同じアピールポイントを選んだ人同士で見合う。
- アピールポイントと技がきれいにできるポイントと混同していた。アピールポイントとしてはもっとシンプルに「助走」「着手」「空間姿勢」などでよかった。



主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善について

- 「主体的で対話的で深い学び」は、授業改善を推進する視点であって、指導の目標ではない。学びの過程を体育科、他教科と相互に関連させながら、それぞれの教科で求められる技能を高める必要がある。
- 技の成功に喜んだ生徒の姿が印象的。生涯にわたって運動好きの生徒が増えていくとよい。



「めあて」と「振り返り」実践例紹介①～中学部 保健体育～

<事例1> 題材名：メダルラッシュⅡ～水泳～

めあて 正しい姿勢で泳ごう。

→ 浮くためには、

振り返り

- 足元のばして 7ニ歩きました。
- 耳のうしろで うでをのばして。
- クロールで、指から入れて、うでをのばしながら かいこ。

もぐる、泳ぐ	
顔をつけて 壁ノク足	
けのび	
顔をつけて ビートでキック	
肩つきをいばで すすむ (5m)	
肩つきをいばで ビートですすむ	
肩つきをいばで すすむ (12m)	
ビート板を つかって クロール	
クロールで およぐ (m)	

注目ポイント!

- ①実態別4グループに共通するめあて提示。導入で動画から「正しい姿勢」のイメージをつかむ。
- ②各グループで「めあて再確認→運動→まとめ」
- ③全体で動画視聴、各Gのまとめを発表し合った。

<事例2> 題材名：メダルラッシュⅢ～器械運動～平均台グループ

学習課題 バランスをとるために、どに目見て歩けばいいだろうか。

振り返り

平均台運動のポイント

足	「すーとん」と歩く。
目	前をま、すぐ見る。
手	
美しさ	

1	前歩き	
2	横歩き	
3	後ろ歩き	
4	サーフィン	
5	飛行機	
6	忍者	
7	高足ターン	

注目ポイント!

- ①毎時間の学習を一覧に!
- ②グループの実態に応じ、簡単な言葉で課題を提示
- ③滑らかな動きという抽象的な言葉を「すーとん」と擬音を用いたり、「腕はTの形」など分かりやすい言葉を用いたりした。

<事例3> 題材名：メダルラッシュⅢ～器械運動～跳び箱グループ

学習課題 自分の体重を軽重かせるため、手の位置や動きはどうしたらいいだろう?

振り返り

跳び箱運動のポイント

足	・両足をそろえてとぶ「ト」と、ひざをまげてジャンプする。
手	・手はテパの上につく「フ」と、つよくおす「パ」と。
目	
美しさ	

跳び箱運動	
1	ジャンプ ジャンプコース
2	べったん 動物コース
3	開脚跳び (3段)
4	開脚跳び (4段)
5	開脚跳び (5段)
6	開脚跳び (6段)
7	跳び乗り、跳び下り
8	開脚跳び

注目ポイント!

- ①学習の初めに課題について予想させた。
- ②課題についての振り返り(答え)が知識・技能になると考えた。授業の序盤でまとめ、その知識を活用しながら運動し、技能の向上を目指した。

※事例2、3は、全体での「めあて」を基に、グループで「学習課題」を設定した。